

# 文学研究科

哲学専攻  
英文学・英語学専攻  
文化史学専攻  
国文学専攻  
美学芸術学専攻



複雑化し、混迷する現代社会、  
人間と文化の根源を探求する。

浜誌遺跡(京都市京丹後市)  
縄文時代(約4,000年前)

考古学実習室にて

## 文学研究科とは

同志社大学大学院文学研究科は、学制改編に伴う新制大学院の設置とともに1950年に開設されました。文学研究科には現在、哲学、英文学・英語学、文化史学、国文学、美学芸術学の5専攻が置かれています。各専攻には、博士課程(前期課程)と博士課程(後期課程)がそれぞれ設置されています。

本研究科は、「キリスト教主義・自由主義・国際主義に基づく人間形成を根本的な教育理念として、人文学の高度な理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて文化の進展に寄与すること」を基底に置き、博士課程(前期課程)では、研究・教育職並びに高度に専門的な業務に必要な研究能力及び豊かな学識を養うことを、博士課程(後期課程)では、広い視野に立つ精深な学識と高度な研究能力を涵養することを目的としています。

これらの理念、目的を十分に踏まえた本研究科の目標と使命は、人間及びその言語・文化活動の全体を根源的、体系的に捉え、それらについての厳密かつ真摯な研究・教育を通じて、質的变化の激しい現代社会においても人間と文化の本質を洞察して新たな時代を切り開ける有能な人物を世に送り出すことです。

同志社大学が掲げる国際主義の伝統を活かし、海外の一流研究機関との連携を進めながら、広く世界で活躍できる研究者・高度専門職業人の育成に努めてまいります。

## 「人間とは何か？」を問う

ますます複雑・多様化する社会の中で、高度な知の再構築が求められています。大学院の研究・教育においても、学問を単に知識の体系的な集積体と捉えるばかりではなく、学ぶ者一人ひとりの中に各専門分野から広がる有機的な知的ネットワークを確立することが要求されるようになりました。またあらゆる分野でグローバル化が進む中で、ますます自文化に精通した上で他文化への理解を広げられる国際主義的教養も不可欠となっています。

このような状況で最も重要なのは、学問の核心にあり続けてきた「人間とは何か？」という根本問題に遡ることです。なぜなら、社会の変化は人間の様々な欲望や願望や理想が生み出すものであり、その根本を理解できなくては個別的対応も不可能だからです。そしてこれこそ、人文学を追求する文学研究科が常に追究してきた問いにほかなりません。本研究科の各専攻では、この同じ人間洞察という目標にそれぞれの切り口から取り組み、過去と現在の問題点を正確に解明するとともに、将来の豊かな人間性と社会の望ましいあり方を構想する本当の意味での学識と研究能力を、大学院生の一人ひとりに育みたいと考えています。

同志社大学大学院の各研究科は各々の専門分野において「世界的な教育・研究拠点」となるべく、努力を続けています。文学研究科でも、広義の人文学という専門分野において、また個々の専攻でより特殊化された個別専門分野において、同じ目標に向かって努力がなされています。文学研究科が探求してきた同じ1つの普遍的な問い、「人間とは何か？」という問い、それは、常に新しい問い方で問われ、新しい方法で探求されていかねばなりません。そうすることによってのみ、現代世界の変化を見据え、理解し、その上で、人間であることの普遍的な価値が今現在、どこに、どのような形であるのかを知ることができます。私たちが住む世界全体に即して、現代世界が求める価値の体系—知の総体—が再構築されなければなりません。この壮大な使命のための拠点の建設に、私たちとともに没頭してみようという人物を、文学研究科では待ち望んでいます。



▲  
アドミッション・ポリシー



▲  
詳細は Web へ

## 哲学専攻

## 新茂之 教授

- ① 経験主義的視点についての多面的理解
- ② 経験的事実に足場を置く経験主義の観点を、古典的経験主義、論理的経験主義、プラグマティズムという三つの主な哲学的動向の視角から多層的に把握する
- ③ 『パース「プラグマティズム」の研究—関係と進化と立論のカテゴリー論的整序の試み—』晃洋書房, 2011

## 服部 敬弘 准教授

- ① 19—20世紀フランス哲学
- ② ベルクソン哲学への批判とハイデガー存在論の継承発展によって構築されるレヴィナス哲学の生成史研究
- ③ ①『レヴィナス読本』法政大学出版局, 2022 ②『ミシェル・アンリ読本』法政大学出版局, 2022

## 林 克樹 教授

- ① カントの批判的形而上学
- ② 理性批判を経て知と非知の境界に接するところまで思考を導き、「宗教の防壁」たらんとするカントの批判的形而上学の意義を考察する。
- ③ 「カントにおける「自己自身に対する義務」—慮への問い—」『文化学年報』2022, (71), 1-24.

## 中川 明才 教授

- ① ドイツ古典哲学の歴史的体系的研究
- ② カント哲学の批判的継承という動向における、スピノザ論争・無神論論争といった思想史的な諸論争、カント以後の体系構想の諸展開ならびに絶対的なものの不在という問題状況に関する研究。
- ③ 『フィヒテ知識学の根本構造』晃洋書房, 2004

## 中村 拓也 教授

- ① フッサールの超越論的現象学
- ② フッサールの超越論的現象学における自我論についての純粋自我と人格的自我、原自我と先自我の関係性を踏まえた体系的研究
- ③ 「純粋自我と原自我—『イデー』と『ベルナウ草稿』における自我の問題—」『人文』2021, (208), 1-35.

## 英文学・英語学専攻

## 赤松 信彦 教授

- ① 外国語学習における母語の影響。特に、語彙や文法の知識構築過程における概念形成の研究
- ② (1) 第一言語と言語学習環境が二言語心内辞書に与える影響、(2) 外国語学習における認知言語学アプローチの効果
- ③ The intertwining effects of first language and learning context on the bilingual mental lexicon. In H. Pae (Ed.), Writing systems, reading processes, and cross-linguistic influences: Reflections from the Chinese, Japanese and Korean languages, 2018, 7, 245-266.

## David J.CHANDLER 教授

- ① The literature and culture of the British Romantic period (1780-1850).
- ② Particular interests include the "Lake poets," provincial writing, and musical theatre.
- ③ Creating The Lion King: Story Development, Authorship and Accreditation in the Disney Renaissance, Journal of Screenwriting, 2018, 9(3), 329-45.

## 圓月 勝博 教授

- ① 近代英語詩・キリスト教文学
- ② 17世紀イギリス文学・20世紀モダンイズム詩
- ③ ①共著 The Oxford Handbook of John Bunyan, Oxford University Press, 2018 ②共著 A Concise Companion to Milton, Blackwell, 2007 ③共著 The Cambridge Companion to John Dryden, Cambridge University Press, 2004

## 石塚 則子 教授

- ① 20世紀転換期のアメリカ文学研究
- ② 20世紀転換期の文学テキストを中心に、個として女性の内面世界と住空間の関係性を考察する。
- ③ ①『活字メディアとしての『ドメスティックエコノミー論』』『アメリカ研究』2020, (54), 45-66. ②『Lily Bart の visibility と情動』『関西英文学研究』2020, 13(14), 25-33. ③共著『ヘンリー・ジェイムズ、いま—歿後百年記念論集—』英宝社, 2016

## 金津 和美 教授

- ① 18世紀からイギリス・ロマン主義時代の文学
- ② イギリス・ロマン主義文学にみられる自然観を18世紀の風景に関わる美意識や思想、および現代環境思想との関わりにおいて研究。
- ③ ①共著『スコットランド文学の深層—場所、言語、想像力』春風社, 2020 ②共著『トランスアトランティック・エコロジー—ロマン主義を語り直す』彩流社, 2019

## 金谷 益道 教授

- ① 19世紀・20世紀イギリス小説
- ② 19世紀・20世紀イギリス小説の創作理念と絵画・写真・映画等の視覚芸術との関係性、19世紀のイギリス小説家の表象観に対する認識論や生理学の影響
- ③ 『ヴァージニア・ウルフの映画体験—痕跡・偶然・無意識』『英国小説研究 第28冊』英宝社, 2021

## 勝山 貴之 教授

- ① シェイクスピア研究
- ② 16世紀・17世紀英国の政治・経済・社会と演劇研究。当時の政治や経済が演劇にどのように影響し、また演劇がどのように社会に語りかけたかを研究対象とする。当時に書かれた年代記、地誌、政治論考、旅行記、医学書、貿易書、地図など、様々な文献を解釈しながら、演劇との相互関係を探求する。
- ③ ①『「尺には尺を」と貨幣』『Shakespeare Journal』2022, (8), 23-33. ②『シェイクスピアと異教国への旅』英宝社, 2017 ③『英国地図製作とシェイクスピア演劇』英宝社, 2014

## 川島 健 教授

- ① 20世紀イギリス演劇、小説
- ② ジェンダーと政策の観点から考える1950年代以降の英国演劇 BBC (英国放送協会) ラジオにおける文学者たちの活動 社会主義と若者文化
- ③ ①『英国若者文学論—国家が拡張をきらめたとき、若者はどのように大人になっていくのか』小鳥遊書房, 2022 ②『演劇家の誕生—演劇の近代とその変遷』彩流社, 2016 ③『ベケットのイルランド』水声社, 2014

## 菊田 千春 教授

- ① 認知言語学、構文文法
- ② ことば(文法や構文)の変化に見られる法則性を捉え、そのメカニズムを理論的視点から明らかにする。
- ③ ①「複合構文としての係結び—通時的構文文法及び機能主義的類型論からの再考—」『認知言語学研究』2021, 6, 63-85. ② Complex Predicates in Japanese, Routledge, 2019/1994 ③ Development of conditional imperatives in Japanese: A diachronic constructional approach, Cognitive Linguistics, 2018, 29(2), 235-273.

## 桐山 恵子 教授

- ① 19世紀イギリス文学・文化
- ② ヴィクトリア朝小説、イギリス文学における舞踊表象
- ③ ①共著『ニンフの布—ニジンスキー「牧神の午後」と「ケルケ」挿話の比較考察』『百年目の「ユリシイズ」』松籟社, 2022 ②『英国詩でダンス—ページのなかのバレリーナ』小学館スクウェア, 2018 ③『境界への欲望あるいは変身—ヴィクトリア朝ファンタジー小説』世界思想社, 2009

## 能登原 祥之 教授

- ① 用法基盤に基づく第二言語習得と言語教育、コーパスに基づく言語研究と英語教育
- ② 言語学や第二言語習得論の理論(特に語彙・統語・意味・語用論)を様々なコーパス(言語データ)に基づき観察・検証し英語教育の指導内容や指導法を見直していく研究
- ③ Type/token frequency effects in L2 learners' canonical construction development, Doshisha Studies in English, 2021, (102), 141-178.

## 大沼 由布 教授

- ① 中世英文学における西洋古典の受容
- ② 旅行記・博物誌・百科事典等を中心に、10~15世紀の英文学で西洋古典の記述がどのように利用され、当時の世界観を形作っていたか
- ③ ①共編著『旅するナラティブ—西洋中世をめぐる移動の諸相』知泉書館, 2022 ② Otherness as an Ideal: The Tradition of the 'Virtuous' Indians, 'Otherness' in the Middle Ages. Ed. Hans-Werner Goetz and Ian Wood. Brepols, 2021, 319-338.



Mark RICHARDSON 教授

- ① American literature, poetry
- ② American literature with a focus or the American poet Robert Frost. Other interests: British poetry, African-American literature.
- ③ 共編 The Letters of Robert Frost, Volume 3: 1929-1936, Belknap Press of Harvard University Press, 2021

下楠 昌哉 教授

- ① アイルランド文学・幻想文学
- ② ジェイムズ・ジョイスを中心とした19世紀～現代にかけてのアイランド・英国の小説の研究。および西洋を起源とした幻想性の文学における日本への移入について。
- ③ ①共編『百年目の『ユリシーズ』』松籟社, 2022 ②『妖精のアイランド』平凡社新書, 2005

白川 恵子 教授

- ① アメリカ文学／文化における体制的想像力
- ② 初期アメリカにおける叛乱／陰謀事件－歴史記述と文学表象との脱／境界、奴隷制度と人種分離政策に対する文学的・文化的抵抗精神の露露と異人種間相互交渉、アメリカン・ナラティブの系譜とジャンルの準拠性に関する問テクスト
- ③ 『抵抗者の物語－初期アメリカの国家形成と犯罪者の無意識』小鳥遊書房, 2019

Stefanie Alexa STADLER 教授

- ① Sociolinguistics, Pragmatics, Intercultural Communication
- ② My focus lies predominantly in the dynamics of efficient communication between interactional partners of diverse backgrounds. In particular, I am interested in how parameters such as culture and gender impact shared understanding and the communicative process on the whole.
- ③ Conflict, Culture and Communication, Routledge, 2019

菅原 真理子 教授

- ① 音声学・音韻論、特に英語と日本語の韻律研究
- ② 英語の語強勢の発話・知覚研究を、英語母語話者と日本人英語学習者を対象に行っている。
- ③ 『英語における主強勢直後の語末完全母音音節の韻律的強さの評価－聴覚刺激を用いない内省判断タスクに基づく研究』『同志社大学英語英文学研究』2023, 104, 137-159.

瀧田 健介 教授

- ① 生成文法理論に基づく比較統語論
- ② 句構造構築とその線状化に関する基本原理の解明、日英語を中心とした移動現象および省略現象の言語間の普遍性と多様性の解明
- ③ ①Labeling for Linearization, The Linguistic Review, 2020, 37 ②共編『日本語研究から生成文法理論へ』開拓社, 2020

臼井 雅美 教授

- ① 文学にみる多様性(19世紀から21世紀の英米を含む英語圏文学と文化)
- ② 英語で書かれた文学におけるジェンダー、人種、民族の多様性を探求すること。
- ③ ①『ブラック・ブリティッシュ・カルチャー』明石書店, 2022 ②『記憶と対峙する世界文化』英宝社, 2021 ③『カズオ・イシグロに恋して』英宝社, 2019 ④『記憶と共生するポードレス文学』英宝社, 2018

山辺 省太 教授

- ① 20世紀アメリカ文学における宗教性
- ② 20世紀アメリカ文学において宗教性をまとった人間や光景はどのように表象されるか、というのが現在の研究テーマである。
- ③ 『フランシー・オコナーの受動性と暴力』彩流社, 2019

文化史学専攻

阿部 俊大 教授

- ① 西洋中世史、スペイン史
- ② 地中海におけるキリスト教圏とイスラーム世界の多角的関係とその歴史的影響
- ③ 『レコンキスタと国家形成：アラゴン連合王国における王権と教会』九州大学出版会, 2016

服部 伸 教授

- ① 非正統医療信奉者による医療・健康運動
- ② 近代ドイツ社会史。特に近代的な科学的医学が急激に発展し、医師の専門職としての地位と社会的な認知が確立した19世紀末から20世紀初頭の時期において、このような正統医学に批判的な非正統医療信奉者による医療・健康運動を、地域社会と関連付けて考察する。
- ③ ①編著『身体と環境をめぐる世界史：生政治からみた「幸せ」になるためのせめぎ合いとその技法』人文書院, 2021 ②『ドイツ「素人医師」団』講談社, 1997

堀井 優 教授

- ① 中世・近世の東地中海(レヴァント)における異文化接触の秩序構造
- ② 東西交通の要衝における中東・ヨーロッパ間秩序、とりわけオスマン条約体制とエジプト海港社会
- ③ 『近世東地中海の形成－マムルーク朝・オスマン帝国とヴェネツィア人－』名古屋大学出版会, 2022

井上 一稔 教授

- ① 日本宗教美術史
- ② 主としてわが国で祀られている仏像彫刻を、古代・中世文化を明らかにする視点で調査し、研究している。
- ③ ①『新出・福知山市観音寺不動明王立像について』『国華』2022, 1520, 7-22. ②『天台の中台八葉院形聖観音坐像について』『伝教大師一千二百年大遠忌記念出版平安・鎌倉の天台』2021, 195-216.

城地 孝 准教授

- ① 中国明清時代の政治と社会
- ② 明清時代(1368～/～1911)中国の政治・社会における「理念」と「現実」との相互関係に関する研究。明清中国と周辺諸国との関係史。
- ③ ①分担執筆『北虜問題と明帝国』『1571年 銀の大流通と国家統合』山川出版社, 2019 ②『長城と北京の朝政－明代内閣政治の展開と変容－』京都大学学術出版会, 2012

岸本 廣大 准教授

- ① 古代ギリシア史
- ② 連邦の制度史／連邦を中心とした諸共同体の外交文化／ローマ支配下のギリシア世界における諸共同体の活動
- ③ 『古代ギリシアの連邦－ポリスを超えた共同体』京都大学学術出版会, 2021

北 康宏 教授

- ① 日本古代史・文化史の研究
- ② 日本古代王権の成立と展開、その支配の正当性の論理の研究。推古朝の国制と蘇我氏・聖徳太子。日本律令国家の君主制の構造とその展開。
- ③ ①分担執筆『平安宮一千年の都の形成』『古代史講義 宮都篇』筑摩書房, 2020 ②分担執筆『文献からみた天皇陵』『講座 畿内の古代学 古墳時代の畿内』雄山閣, 2018 ③共著『新版 史料で読む日本法史』法律文化社, 2016 ④分担執筆『大王とウヂ』『日本歴史 古代2』岩波書店, 2014

小林 丈広 教授

- ① 歴史学と地域社会
- ② 日本近代社会史、地域史、明治維新史、公共歴史学など幅広い視点からアプローチ
- ③ ①『近代日本と公衆衛生』雄山閣出版, 2001 ②『明治維新と京都』臨川書店, 1998

水ノ江 和同 教授

- ① 日本考古学と文化財保護
- ② 考古学に関しては、旧石器時代から現代まで全般であるが、その中でも縄文時代における日本列島と周辺地域との関係性について重点的に研究。文化財保護については、現代社会において文化財をどのように保護すべきか、その理念構築と具体的な実践を進めている。
- ③ ①『縄文人は海を越えたか?』朝日新聞出版, 2022 ②『実践 埋蔵文化財と考古学』同成社, 2021 ③『入門 埋蔵文化財と考古学』同成社, 2020

西岡 直樹 教授

- ① 日本近世(日常)史の構築
- ② 近世を生きた1人の人間が書き留めた日記をもとに、その記主の「まなざし」の奥にある「ありのままの(日常)を掬いとる。
- ③ 『(日常)のなかの近世・夫婦の絆』『人文学』2019, (204), 1-46.

小野 直子 教授

- ① アメリカ社会史
- ② アメリカ合衆国における優生学運動を中心に、身体や医療に関する歴史。
- ③ 共編『医療化するアメリカー身体管理の20世紀ー』彩流社, 2017

佐野 静代 教授

- ① 日本の水辺に関する歴史地理学
- ② 琵琶湖・淀川水系を中心とした湖沼と海域沿岸などの生業史・景観史研究。
- ③ ①『外来植物が変えた江戸時代：里湖・里海の資源と都市消費』吉川弘文館, 2021 ②『中近世の生業と里湖の環境史』吉川弘文館, 2017

山田 徹 准教授

- ① 日本中世後期の社会
- ② とくに南北朝・室町時代(室町幕府・守護・荘園制・政治史)、畿内近国の地域史など。
- ③ ①『京都の中世史4 南北朝内乱と京都』吉川弘文館, 2021 ②『室町大名のライフサイクル』『生活と文化の歴史学7 生・成長・老い・死』2016, 61-95. ③『室町時代の支配体制と列島諸地域』『日本史研究』, 2015, (635), 1-25.

## 国文学専攻

### 藤井 俊博 教授

- 1 日本語学(日本語史、文体・表記・語彙)
- 2 日本語史の中でも、特に文章文体・表記・語彙を中心に、上代から中世を対象に研究している。
- 3 ①『院政鎌倉期説話の文章文体研究』和泉書院, 2016 ②『今昔物語集の表現形成』和泉書院, 2003

### 岩坪 健 教授

- 1 中世・近世における『源氏物語』の享受
- 2 『源氏物語』の注釈書・梗概書や、絵画・華道などにおける影響
- 3 ①『源氏物語の享受』和泉書院, 2013 ②『源氏物語古注釈の研究』和泉書院, 1999

### 垣見 修司 教授

- 1 日本上代文学の研究
- 2 『万葉集』の和歌、卷十三の歌群研究。記紀歌謡論、枕詞等の古代和歌修辭論、古代の倭語(やまとことば)と漢字の結びつき
- 3 『万葉集卷十三の長歌文芸』和泉書院, 2021

### 西川 貴子 教授

- 1 日本近現代文学の作品研究。怪奇幻想探偵小説の研究。メディアと文学
- 2 幸田露伴、佐藤春夫などの文学作品の研究。怪奇幻想探偵小説の研究。メディアと文学との関わりについて(視覚メディアと文学、建築と文学、懸賞小説についてなど)。
- 3 ①「紙上映画という試みー懸賞映画小説「霊の審判」を読む」『人文科学』2022, (209), 35-66. ②共編著『建築の近代文学誌』勉誠出版, 2018 ③「〈言〉をめぐる物語ー幸田露伴「平将門」論」『藝文研究』2015, 109(109), 148-164.

## 瀬崎 圭二 教授

- 1 日本近現代文学(消費社会における文学の様相)
- 2 消費社会における表象文化、及び消費の対象となっている文学、文化現象の文化史的研究
- 3 ①『テレビドラマと戦後文学 芸術と大衆性のあいだ』森話社, 2020 ②『海辺の恋と日本人 ひと夏の物語と近代』青弓社, 2013 ③『流行と虚米の生成 消費文化を映す日本近代文学』世界思想社, 2008

### 植木 朝子 教授

- 1 日本中世における歌謡および芸能の研究
- 2 今様や室町小歌、能・狂言など、中世の流行歌謡や芸能の背景にある信仰や風俗を明らかにし、表現の特質を探る。
- 3 ①『風雅と官能の室町歌謡』角川選書, 2013、②『今様』笠間書院, 2011 ③『梁塵秘抄の世界』角川選書, 2009 ④『梁塵秘抄とその周縁』三省堂, 2001

## 美学芸術学専攻

### 伊達 立晶 教授

- 1 文芸学に基づく西洋芸術研究
- 2 詩、絵画の制作論史
- 3 『詩画制作論の系譜』三元社, 2019

### 越前 俊也 教授

- 1 美術と公共性
- 2 1) 美術館及び博物館の成立と機能と使命に関する研究。とりわけそれらの施設における展示の役割に関する分析と解釈。  
2) 記念碑、公園、庭園など公共空間における美術作品の成立と機能と使命に関する研究。
- 3 「平和記念の造営と展示1915-1964-広島-陳列館/資料館/公園の50年-(同志社大学文学研究科学位授与博士論文)」2020

### 清瀬 みさを 教授

- 1 ルネサンス以降19世紀までの西洋美術における-人文主義思想の展開-
- 2 ルネサンスにおける諸学芸比較論争(パラゴネ)研究は、イタリア15世紀初頭から16世紀半ばを中心に展開し「素描」概念の成立により美術分野間の相克が調停された。そのパラゴネ研究は従来15-16世紀を中心に論じられてきたが、本研究の目的は、イタリアの中世末期、14世紀の前期人文主義、とりわけペトルルカにおけるプリニウス受容と古典および同時代の美術作品の評価が諸学芸比較論争の言説の方向付になったことを検証することである。
- 3 共訳「美術と学芸の相克」『パラゴネ 諸学芸の位階論争』中央公論美術出版, 2021

## 河野 道房 教授

- 1 中国山水画における奥行き表現
- 2 中国においては、8世紀にすでに透視図法的奥行き表現が成立するが、それはいつ、どのようにして始まり発展したかを考察する。
- 3 『中国山水画史研究-奥行き表現を中心に-』中央公論美術出版, 2018

### 森田 團 教授

- 1 カント以降の19世紀ドイツ美学、20世紀初頭のドイツ美学
- 2 20世紀の初頭のドイツにおける芸術をめぐる哲学的思考(とりわけルカーチ、プロットフ、ローゼンツヴァイク、ベンヤミン)の研究
- 3 『ベンヤミン-媒質の哲学』水声社, 2011

### 大愛 崇晴 教授

- 1 16~18世紀イタリアを中心とする西洋音楽とその理論の研究
- 2 17世紀科学革命期における科学と音楽理論の関係の研究、ジュゼッペ・タルティーニの音楽理論研究
- 3 『16・17世紀の数学的音楽理論-音楽の数量化と感性的判断をめぐって-』晃洋書房, 2021

### 佐藤 守弘 教授

- 1 視覚文化/メディア研究
- 2 写真を中心とした複製によって流通する視覚メディアの歴史や理論を、主に近現代日本のポピュラー/ヴァンキュラー文化をフィールドとして研究
- 3 ①共編『学校で地域を紡ぐー『北白川こども風土記』から』小さ子社, 2020 ②『トポグラフィの日本近代-江戸泥絵・横浜写真・芸術写真』青弓社, 2011

## TOPICS

### 美、芸術、感性を考えるー美学芸術学専攻

美学芸術学専攻では、美学・芸術学・美術史を中心領域として、様々な芸術ジャンルや視覚文化を研究対象としています。「美学」研究の原点は、「美的感覚」とは何かを問うことにあります。「芸術学」は、具体的な芸術作品の分析を通じて、美とは違った芸術の意味の解明をめざします。「美術史」は、個々の美術作品の「形」や「内容」を時系列的展開のなかで捉え、考察する研究です。これら三領域について、美や芸術の本質や多様性、様々な芸術ジャンルの原理、及び作品の歴史を総合的に研究することによって、社会や学会で活躍しうる人物を養成しています。こうして、感性の陶冶、論理の錬成を重ねれば、芸術にとどまらない、対象への透徹した見識、すなわち「眼」を養うことができるでしょう。

